

夏真っ盛り、海開き



7月14日、人口海浜の庄南ビーチ(西安下庄)とビーチ玉海岸(久賀)で海開きが行われ、シーズン中の安全と観光客の増大が祈願されました。

ビーチ玉海岸では神事のと、久美保育所の園児が初泳ぎ。夏の照りつける太陽のもとで、子ども達は水しぶきと歓声をあげて元気に泳ぎました。7月26日には久賀保育園が海水浴に訪れ、浮き輪やビーチボールを手に家族で楽しんでいました。

砂浜よりも熱い戦い

片添ヶ浜で7月13日、「サザンレク片添山口県知事杯ビーチバレー2008」が開催されました。選手たちは焼けるような砂浜で2人制、4人制のチームに別れ懸命にボールを追っていました。

15回目を数えるこの大会には毎年参加しているチームも多く、周防大島の夏を代表するスポーツイベントとなっています。



ヒラメさん元気に育ってね

7月10日、島中小学校の児童が白鳥が浜でヒラメの稚魚を放流しました。バケツに少しずつ入れてもらった小さなヒラメとお別れするのは名残おしかったようですが丁寧な海の中へ。海に入ったとたん砂の色に変化したり砂にもぐったりするヒラメに驚きながら、元気に育ってほしい思いを込めて見送っていました。

稚魚は7000尾放流され、豊かな海で大きく育ちます。



水に落ちても、落ち着いて

屋代小学校で7月15日、着衣のまま泳いだり、おぼれた人を救助したりする着衣泳法指導が柳井海上保安署により行われました。夏休みを前に、万が一の水の事故にあった時、服を着たまま泳いだり浮いたりする方法や、ペットボトルを使った救助法などを海上保安署員が指導。

参加した児童14名は、救命胴衣を着用して体が水に浮く状態の体験も行い、万が一おぼれてもあわてずに体を浮かせる方法を身に付けたようです。

